

令和3年度アクション・プラン【阪神北県民局】

I 目指す姿

阪神北地域は、かつての首都圏「畿内」西端の「摂津国」に属し、歴史の表舞台に数多く登場してきた。明治時代の鉄道網の開発とともに、快適な住環境を備えた郊外住宅地として発展し、近代的な芸術文化や生活様式を柔軟に取り入れた独特のライフスタイル「阪神間モダニズム」を築き、特色ある歴史・文化を育んできた。

また、交通網が充実した多くのニュータウンが開発される一方で、森林面積が約6割を占め、その約9割が天然林であり、今なお歴史・文化や生物多様性などを保つ里山が数多く残されている。

しかし、人口の減少や少子高齢化が急速に進むことにより、オールドニュータウン問題の顕在化や地域の活力低下等が懸念されるなど、成長社会から成熟社会へ移行する中で、この地域の新たな発展が求められている。

このため、利便性が高く、魅力ある地域資源をつなぐ充実した鉄道網・道路網などが整った快適な住環境や「日本一の里山」をはじめとする豊かな自然、さらには消費地に近接する都市・都市近郊農業の優位性を生かし、「阪神間モダニズム」といわれる地域独自の市民文化などの中で実践される自然・歴史・文化・芸術・スポーツなどの多彩な活動を楽しむ生活全体を「アート・ライフ」と名付け、自分にあった生活を創造・実現できる地域づくりに取り組み、若者の域外への転出を食い止め、転入を促し、「アートな暮らしが賑わう活力あるまち」を目指す。

【目標】

K P I	目標設定の時点	R2	R3	R4	R5	R6
芸術文化に接する機会（住んでいる地域は芸術文化に接する機会があると思う人の割合）※		52%	54%	56%	58%	60%以上 ※過去最高割合
	47.8% (H30)	48.5% (R2)				
自然・歴史・芸術・文化・スポーツで賑わうまちづくり（観光入込客数）		2,020万人	2,040万人	2,060万人	2,080万人	2,100万人
	1,994万人 (H30)	1,894万人 (R1)				
地域資源の価値（観光消費額(名目)）		1,900億円	2,025億円	2,150億円	2,275億円	2,400億円
	1,561億円 (H30)	1,582億円 (R1)				
対外的に誇れる地域資源の存在（住んでいる地域に自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化など）があると思う人の割合）※		58.0%	58.5%	59.0%	59.5%	60%以上 ※過去最高割合
	56.9% (H30)	54.6% (R2)				
農産品等生産・流通（農業産出額(推計)）の向上		78億円	78億円	78億円	78億円	78億円 ※過去4年間の最高額維持
	77億円 (H29)	72億円 (H30)				
阪神北地域に住み続けたい人（住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合）※		79.2%	79.4%	79.6%	79.8%	80%以上 ※過去最高割合
	78.8% (H30)	81.2% (R2)				

※出展：「兵庫ゆたかさ指標」県民意識調査

K P I	目標設定の時点	R2	R3	R4	R5	R6
移動の利便性が高い地域（住んでいる地域の公共交通機関は便利だと思う人の割合）※		62.0%	64.0%	66.0%	68.0%	70%以上 ※過去最高割合
	60.8% (H30)	56.7% (R2)				
転入者数（日本人住民・国外含む）		27,000人	27,000人	27,000人	27,000人	27,000人 ※現状維持
	26,292人 (H30)	25,783人 (R1)				
ものづくり技術力（製造業付加価値額）の向上		4,200億円	4,250億円	4,300億円	4,350億円	4,400億円
	4,024億円 (H29)	3,737億円 (H30)				

※出展：「兵庫ゆたかさ指標」県民意識調査

II 取組の方向性

- 1 歴史・文化や景観を生かした街並みを整備するとともに、清和源氏発祥の地などの歴史文化や阪神間モダニズム文化、地域の伝統文化などの多彩な魅力を体感し、自分に合ったライフスタイルを発見・実現できる地域づくりに取り組む。
- 2 都市・都市近郊農業の魅力アップや地域住民、団体、事業者等が一体となって、重要な地域資源である北摂里山(先進的里山・まち山を含む)の持続的な保全、新たな利活用等を推進することにより、地域のブランド力向上に取り組む。
- 3 住環境の良さを内外にアピールするとともに、認知症の人などを支え合うまちづくりや、高齢化が進む農村と都市住民の交流促進、地域を支える産業の振興や雇用の創出を支援することなどにより、誰もが暮らしやすさを実感できる地域づくりに取り組む。

III 具体的な取組（主なもの）

1 歴史・文化・芸術が息づく「まち」の創出

（1）伝統文化と阪神間モダニズムが息づくまちづくり

阪神間モダニズムや阪神地域の多様な芸術文化資源を、最新技術を使って後世に残すとともに、情報発信していくことにより、交流人口の拡大につなげ、活力ある地域づくりを目指す。

【主な事業】

- ① 阪神アートVRミュージアム（仮称）の構築《218千円》
 - 有形・無形文化財を後世に残すとともに情報発信するため、VR映像を活用した映像ライブラリーをWEB上に構築
- ② 「阪神間モダニズムセミナー」の開催《新規・3,000千円》
 - 阪神間モダニズムの音楽文化に着目し、甲子園ホテルなどの社交の場で人々が鑑賞していた音楽を紹介
- ③ スペシャリストと巡る阪神間マイクロツーリズムツアーの実施《拡充・2,348千円》
 - 阪神間モダニズムや酒造文化等に関するスポットを専門家と巡り、地域の魅力を再発見するバスツアーを実施

※ ①～③は阪神南県民センターと共同実施

(2) 自然・歴史・文化を生かしたまちづくり

来訪者や地域住民がスポーツサイクルやまち歩きを楽しむまちづくりを目指し、地域を代表する自然・歴史・文化等の地域資源を生かしたスポーツサイクルを楽しむ環境や街並み整備等に取り組む。

【主な事業】

- ① ひょうご北摂里山サイクルツーリズムの推進《拡充・15,419千円》
 - ・ サイクルツーリズムの推進を通じて地域活性化を図る「ひょうご北摂里山ライド（仮称）」の開催
 - ・ サイクルマップの作成や簡易駐輪施設の増設、走行環境の整備
- ② 三田駅周辺散策空間の整備《新規・1,000千円》
 - ・ 三田市と連携し、「新しいまち」と「歴史の面影あふれるまち」をつなぐ散策空間の再整備を検討
- ③ 清和源氏発祥の地・多田神社周辺の街並み整備《6,007千円》
 - ・ 川西市と連携し、歴史と文化を感じ、県道沿線の街並みの景観にも配慮した参道風舗装を整備
- ④ 武庫川（宝来橋～宝塚大橋）周辺散策空間の整備《7,979千円》
 - ・ 宝塚市と連携し、市民がくつろぎ、交流できる歩道空間を整備

(3) 地域の魅力を生かした交流人口の拡大

交流人口の拡大を図るため、多彩で魅力的な地域資源のPRや外国人観光客の誘客促進に向けたツーリズム施策を展開する。

【主な事業】

- ① 阪神疏水プロジェクト ～母子大池疏水の保全・活用～《新規2,000千円》
 - ・ 疏水の保全や地域全体で活用していくための方策を検討する検討会の開催や、管理組合等による疏水の保全計画の作成等を支援
- ② ひょうご北摂・インバウンド誘客の推進《6,633千円》
 - ・ ホームページのほか、SNSを活用した多言語情報発信
- ③ 県立有馬富士公園「新宮 晋 アート」の魅力発信《5,000千円》
 - ・ 県立有馬富士公園休養ゾーンにおいて「新宮 晋 風のミュージアム」や造形作家・新宮 晋氏が提唱する「地球アトリエ」構想をPRするイベントを支援

2 地域のブランド力が高まる「まち」の創出

(1) 阪神アグリパーク構想の推進

都市・都市近郊農業の振興を図るため、阪神地域の特色を活かした多彩な農畜林産物や「食」に関わる活動拠点をアトラクションとし、地域全体をテーマパークと見立てて策定した“阪神アグリパーク構想”を推進する。

【主な事業】

- ① 「メイド・イン・阪神」発信プロジェクトの推進《新規・3,000千円》
 - ・ 周遊マップの作成・配布や阪神産食材活用ガイドブックの作成・配布、阪神産食材を使用する飲食店応援制度の創設、清酒・食材フェアの開催
- ② 阪神産農産物パワーアッププロジェクトー「阪神産」黒大豆枝豆のブランド化と食育を通じた需要拡大《新規・210千円》
 - ・ 保育園・幼稚園等で黒大豆枝豆のさやもぎ体験を実施
- ③ 阪神農家×事業者マッチングプロジェクトの推進《560千円》
 - ・ 地域の農畜林産物を利用した新商品開発・販売促進等を支援

(2) 北摂里山の魅力向上の推進

伝統的里山、先進的里山、天然記念物の保全・管理や環境学習の支援などを担っている地域団体等と連携しながら、北摂里山(先進的里山・まち山を含む)の持続的な保全を図り、北摂地域の活性化につなげるため、北摂里山博物館(地域まるごとミュージアム)構想を推進する。

【主な事業】

- ① 「ひょうご北摂里山アートフォーラム」の開催《新規・4,000千円》
 - ・ アートの視点を加えた里山活性化を考えるフォーラムの開催
- ② 北摂里山魅力づくり応援事業の実施《3,500千円》
 - ・ 北摂里山をフィールドに活動する団体が行う里山整備活動等を支援
- ③ 里山資源を活用した環境学習の実施《3,285千円》
 - ・ 「北摂里山大学」の開講や「こども北摂里山探検隊」の実施

3 住み続けたくなる「まち」の創出

(1) 「ひょうご北摂ライフ」の推進

移住・定住の促進を図るため、良好な住環境や地域の魅力を体験する機会を提供するなど、阪神北地域の暮らしやすさのPRに取り組む。

【主な事業】

- ① ひょうご北摂リモート現地ガイドの実施等情報発信の充実等《新規・13,115千円》
 - ・ Zoom等による双方向でのリモート現地ガイドや移住関連施設情報等の発信、大阪ふるさと暮らし情報センターでの情報発信、SNSの開設
- ② 「えきバスびじょん。」の作成《2,541千円》
 - ・ スマホを活用した三田駅のバス発着場、出発時間の案内

(2) 認知症の人や高齢者などにやさしいまちづくり

誰もが安心して生活できる地域づくりを目指し、認知症の人などをみんなで支え合う気運の醸成や障害者の自立と社会参加を支援する。

【主な事業】

- ① 「認知症サポート商店街～ホッと、ほほえみ、ストリート～」の普及等《1,800千円》
 - ・ 認知症サポート商店街を認定するほか、認定商店街等が行う啓発イベント等を支援
- ② フレイル予防の推進《600千円》
 - ・ 高齢者施設等において機能訓練が行えるよう、リハビリ専門職による講座を実施

(3) 阪神北地域の経済活性化

豊かさと賑わいを創出する地域経済の活性化を目指し、地域産業の高度化や人材確保、起業したい人などを支援する。

【主な事業】

- ① 阪神北起業・創業バックアップセミナーの開催《210千円》
 - ・ 起業・創業に必要な基礎知識や先輩起業家の体験談、助成金等の説明を実施
 - ② 若者ふるさと企業人材確保支援《800千円》
 - ・ 高校生・大学生を対象に企業訪問バスツアーやロボットセミナーを実施
- ※ ②は阪神南県民センターと共同実施

(4) 安全・安心な暮らしの実現

自然災害などの脅威から暮らしを守るため、安全で安心して生活できる地域づくりに取り組む。

【主な事業】

- ① ウィズコロナを見据えた安全・安心な飲食店営業者への体制づくり支援《新規・1,000千円》
 - ・ 飲食店等事業者を対象に、ワークショップ形式のHACCP講習会の実施と、感染拡大予防ガイドライン・ウィズコロナ対策の情報提供
- ② 阪神北地域防災セミナーの開催《169千円》
 - ・ 阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、地域の防災力を強化するセミナーを開催
- ③ 河川総合治水対策の推進《一》
 - ・ 武庫川・猪名川流域において、「ながす」河川下水道対策、「ためる」流域対策、「そなえる」減災対策を組み合わせた「総合治水」を推進
- ④ 阪神ため池管理防災ネットの実施《425千円》
 - ・ ひょうご防災ネットを活用した、ため池管理者等への緊急情報等送信システムの構築